

経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県 安八町

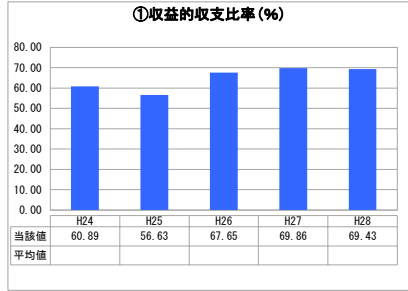
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	99.69	89.65	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,211	18.16	837.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,121	4.82	3,137.14

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



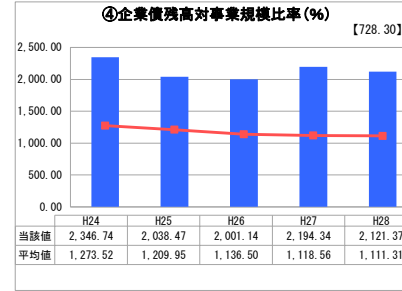
「単年度の収支」



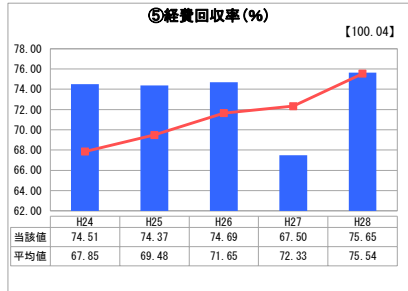
「累積欠損」



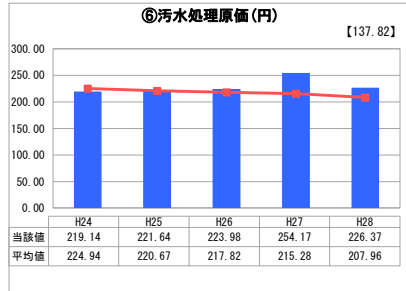
「支払能力」



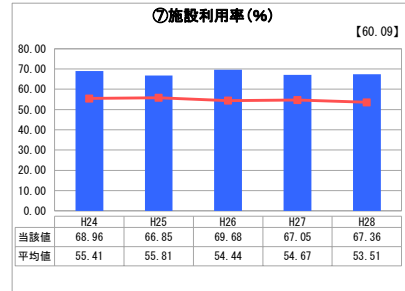
「債務残高」



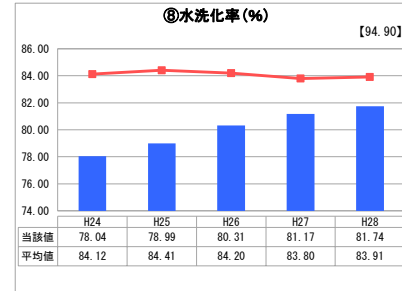
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

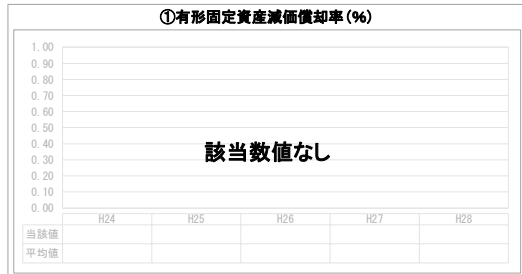


「施設の効率性」

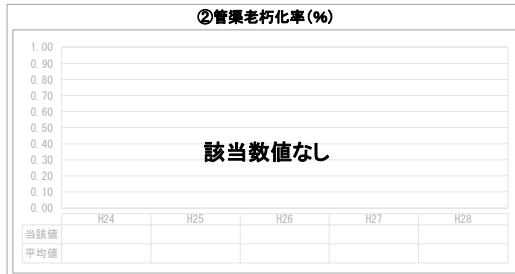


「使用料対象の捕捉」

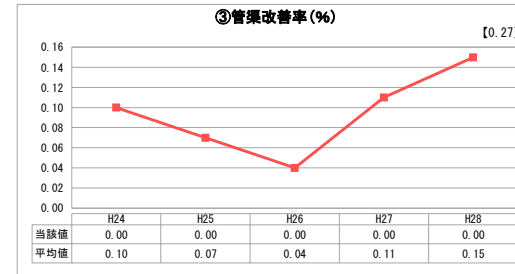
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営としては、収益的収支比率及び経費回収率が100%に満たず、企業債残高対事業規模比率も高水準であり、料金収入等だけでは維持管理や企業債償還等を賄えず、一般会計からの繰入れに依存せざるを得ない現状となっている。この要因としては、下水道整備事業の規模から見ると短期間（平成3年度から平成21年度の19年間）で整備し、財源は自己財源（一般会計繰入金）が事業量からみると少額であったことにより、企業債借入れ額が多額となり、それによって毎年の企業債償還金の元金・利子の支出が多額となったことが考えられる。そのことによって近年、経営の状況に悪影響を及ぼしている。よって経営状況の検証すべき平成28年度に経営戦略の策定を行った。また、水洗化率については、類似団体平均値より低いのは、短期間で整備したことで、供用の告示からまだ年数がたっていないことが、要因と思われる。

2. 老朽化の状況について

資産の現状としては、平成3年度から下水道事業を着手したことにより、管路については当面布設替えの必要性はないが、処理場については、第1期建設から第3期建設分（第1期 H6、7、8年度施工・第2期 H12、13年度施工・第3期 H18、19、20年度施工）の内、第1期建設分が耐用年数を超えていることから平成27年度に長寿命化計画（計画期間 H28年度からH32年度）の策定を行い、平成28年度より事業着手した。

長寿命化計画：機械・電気設備等の改築更新

全体総括

平成28年度に策定した経営戦略の結果、経営において非常に厳しい状態であることが改めて示された。よって、今後の投資（前項・老朽化の状況についてに記載してある事業）の精査、その他経費の削減を図り、また収益となる使用料について、水洗化率向上（目標値H37年度までに90%）、収納率向上を今以上図っていかねばならない。また、どうしても計画のとおり遂行出来ない場合、投資方針の見直しや下水道使用料改定を視野に入れ、会計全体を見直す経営計画の変更を行っていきたく考えている。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。